

事業進行スケジュール

整備項目	整備目標		
	第Ⅰ期	第Ⅱ期	第Ⅲ期
表口駅前広場	●	●	●
新幹線口駅前広場	●	●	●
自由通路	●	●	●
橋上駅舎	●	●	●
既存自由通路	●	●	●
アクセス道路	●	●	●
県道新山口停車場長谷線	●	●	●
重点エリア整備	→		

第Ⅰ期

九州新幹線的全線開通に伴う山陽新幹線との相互乗り入れや国民体育大会の開催など、県内外から多くの来訪者が見込まれ、本市をPRする絶好の機会です。第Ⅰ期においては、駅施設等での一部バリアフリー化などを実施し、新山口駅が変わりつつあることをPRし、来訪者へのおもてなしを演出していきます。

第Ⅱ期

世界スカウトジャンボリーの開催を控え、国内外問わず、多くの来訪者に新たな山口の陸の玄関をお披露目できるよう新山口駅ターミナルパーク整備としての基盤整備を完了します。また、重点エリアの整備に本格的に着手します。

第Ⅲ期

基盤整備完了後も、引き続き、民間活力等の導入を図りながら、新山口駅北地区重点エリア整備を通じた、市街地の形成を推進します。

ターミナルパーク整備の目的

私たちが取り巻く厳しい状況

人口減少社会への突入、地方分権のさらなる進展等、私たちを取り巻く状況は、これまでにない大きな変化をとげています。加えて、人口や経済活動の大都市部への集中は止まない状況にあり、国の推計によると、今後、山口県の人口や経済活動は全国と比較し、大きく減少することが予想されています。このことは、市域をこえた交流が盛んな県都山口市に、大きな影響を及ぼすものと思われます。

広域県央中核都市の形成と成長エンジンとしての都市核づくり

このような状況の中で、今後も、私たちが豊かで安心して暮らしていくためには、一定の人口や産業が集積する、ひと・もの・情報等の交流が盛んな存在感あふれる山口市であり、周辺地域であることが必要です。こうしたことから、山口市では、山口県中部を圏域とする広域経済・交流圏を視野に広域県央中核都市の形成を目指し、その成長エンジンとなる山口・小郡都市核の機能強化に積極的に取り組んでいるところです。

高まる“小郡都市核”の拠点性

小郡都市核は、山口県のほぼ中央に位置する交通の要衝、陸の玄関として、駅南地区を中心に広域的なエリアを管轄する事業所やホテル等の集積が進み、経済・産業部門における広域的な拠点性を高めています。こうした中、山口宇部小野田連絡道路、小郡萩道路の建設や国道9号の拡幅が進むなど、広域高速交通網の結節点としての機能がさらに高まりつつあります。一方で、駅北地区に目を向けると、都市機能やにぎわいが不足しているほか、動線、乗り換え、案内機能、景観、南北の一体性の欠如、大規模遊休地等、多くの課題が見受けられます。

新たな交流や民間投資の誘引

山口市では、こうした状況を踏まえ、ターミナルパーク整備を通じ、交通結節・アクセス機能を高め駅一帯をリニューアルするとともに、重点エリアの市街地形成を進めることにより、新たな交流や民間投資を誘引し、これからの時代を見据えた広域的な産業振興や経済の活性化と山口県の陸の玄関にふさわしいにぎわいを創出していきます。

広域経済・交流圏と広域県央中核都市



広域経済・交流圏とは

県中部の圏域で、広島、福岡・北九州地方中枢都市圏の中間に位置するという特性を踏まえ、市町間の交流・連携を通じた地域資源の有効活用や経済循環の活性化等、市域を越えた取組みや経済的な一体性の形成が望まれる地域(山口県「やまくち未来デザイン21」に定める中部広域活力創造圏)

広域県央中核都市とは

人口30万人以上を有する高い都市経営能力を持つ都市で、広域経済・交流圏における経済活動を支え広域的に質の高い都市的サービスを提供するとともに、世界に通用するまちとしての価値を創造・発揮する都市

山口市ターミナルパーク整備部

〒754-8511 山口市小郡下郷609番地1(山口市小郡総合支所内)
TEL 083-973-8193 FAX 083-973-2431 E-mail tp-keikaku@city.yamaguchi.lg.jp

広域県央中核都市の拠点にふさわしい
小郡都市核の形成に向けて

ターミナルパーク整備

新山口駅北地区
重点エリア整備

新山口駅
ターミナルパーク整備



山口市

郵便はがき

料金受取人払郵便

山口小郡支店承認

276

差出有効期限
平成22年3月31日まで
(切手をはらずにお出し下さい)

山口市小郡下郷609番地1
(山口市小郡総合支所内)

山口市
ターミナルパーク整備部 行



産業交流拠点としての機能強化と山口県の陸の玄関としてのにぎわいの創出を目指します

ターミナルパーク整備とは

ターミナルパーク整備は、「**新山口駅ターミナルパーク整備(基盤整備)**」と「**新山口駅北地区重点エリア整備(市街地形成)**」の2つからなる、小郡都市核づくりのリーディングプロジェクトです。

基盤整備である「**新山口駅ターミナルパーク整備**」は、平成19年11月に基本構想を、平成21年2月に基本計画を策定し、具体的な施設整備として「表口駅前広場」・「新幹線口駅前広場」・「自由通路」・「橋上駅舎」・「既存自由通路」・「アクセス道路」・「県道新山口停車場長谷線」の7つの施設整備を進めていくことといたしました。

また、市街地形成としての、「**新山口駅北地区重点エリア整備**」は、平成21年度から、当該地域への導入機能等について、詳しく調査研究を進め、その結果を踏まえ、できるだけ早く整備を進めていくこととしています。

【アクセス道路】

地域高規格道路の山口宇部小野田連絡道路の長谷ランプと新山口駅を結ぶ広域的なアクセス道路として、また、駅北地区の回遊性の源となるような広い幅員の歩道を備えた緑にあふれ快適で潤いのある空間整備を促進します。

【県道新山口停車場長谷線】

表口のシンボルロードとして、周辺地域への回遊が図られるような美装化や緑化整備を促進します。

【表口駅前広場】

市や県の陸の玄関にふさわしい景観デザインとし、バリアフリーの徹底を図り、にぎわいにあふれた交流空間を整備します。具体的には、現在の約6,100㎡を約11,000㎡に拡張し、新幹線口側の路線バスを表口側に集約します。

【橋上駅舎】

自由通路の2階部分から直接、改札できる利便性の高い、山口らしい駅舎の整備を促進します。

【既存自由通路】

駅前広場整備と併せ、利便性と安全性を高める、駅南北の自転車用の通路として、改良を図ります。

【自由通路】

駅で分断された南北地域の一体感を創出し、移動の円滑化を図るとともに、観光情報等を発信できる歩行者専用の通路とし、幅員を10mとすることにより、滞留空間ともなるよう整備します。

【新幹線口駅前広場】

路線バス機能を表口に集約することにより、今まで混在していた、タクシーと一般車を分離し、混雑の解消された安全性の高い駅前広場を整備します。

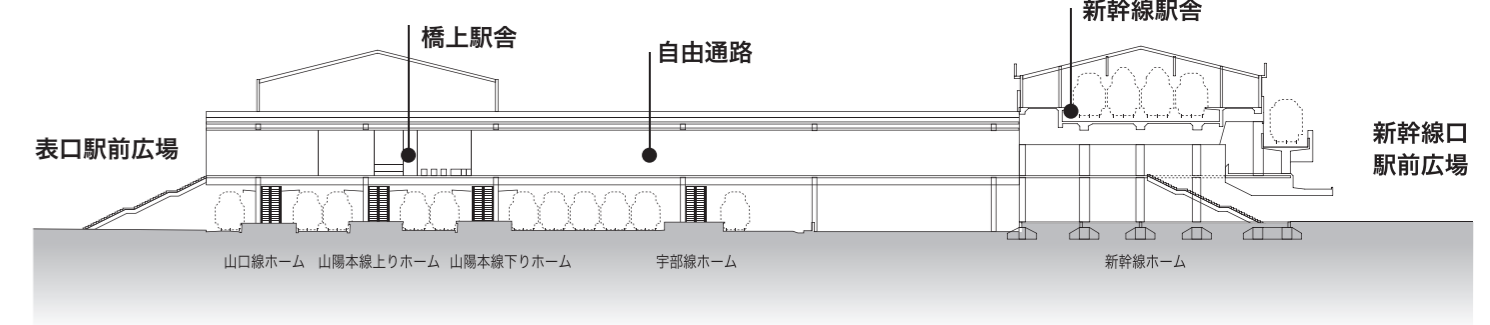
【重点エリア整備】

山口県の陸の玄関として、また、山口市の目指す「広域県中央核都市」の産業交流拠点にふさわしい都市機能等の導入を図り、新たな市街地の形成に努めます。

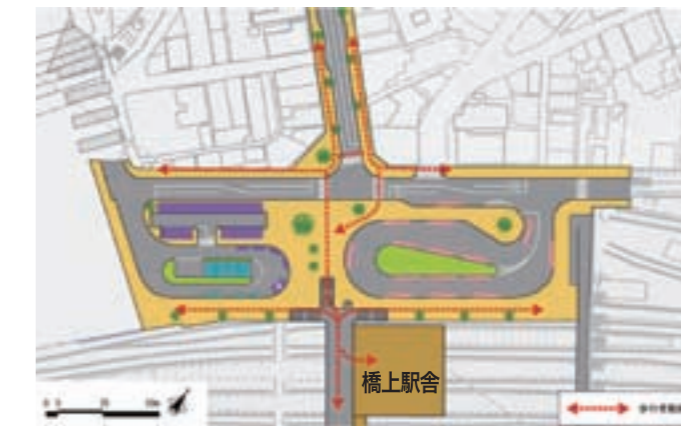


現在の新山口駅

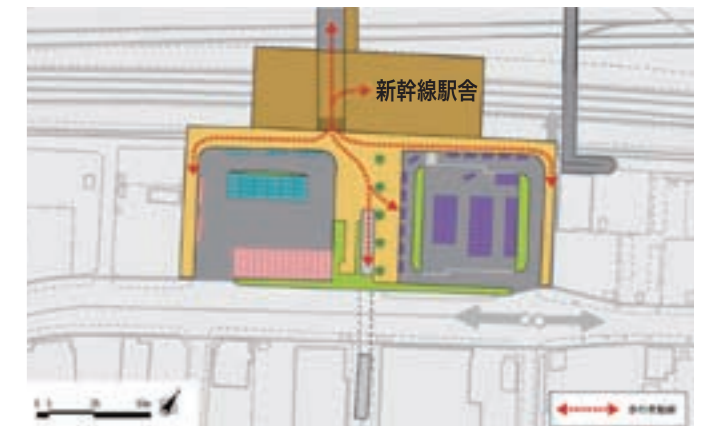
自由通路整備イメージ



表口駅前広場整備イメージ



新幹線口駅前広場整備イメージ



あなたのご意見をお寄せください。

市では、広域経済・交流圏の形成を踏まえた広域県中央核都市の実現に向け、その拠点となる山口都市核づくりと小郡都市核づくりを、官民一体となって積極的に進めています。

なかでも、ターミナルパーク整備は、小郡都市核づくりにおけるリーディングプロジェクトとして、早期の基盤整備及び市街地形成を図ることとしており、今年度より、自由通路や駅前広場等の具体的な整備内容と重点エリアにおける導入機能等の検討に取り組むこととしています。

つきましては、産業交流拠点、また、山口県の陸の玄関にふさわしいターミナルパークの実現に向け、広く皆様方のご意見をお寄せくださいますようお願いいたします。

※お寄せいただきましたご意見につきましては、今後の事業推進の参考にさせていただきます。なお、ご意見への個別の回答はいたしかねますので、ご了承ください。

※はがきは、**8月14日**までに投函ください。

ご意見をいただく方について、該当する□にチェックを付けてください。

【お住まいの地区】
 山口 小郡 秋穂 阿知須 徳地 その他

【性別】
 男性 女性

【年齢】
 20歳未満 20歳以上40歳未満 40歳以上60歳未満 60歳以上

ご意見①
 小郡都市核が、山口のみならず、広域的な産業交流拠点として、また山口県の陸の玄関としての存在感を発揮するため、

A 新山口駅北地区の重点エリアにどのような機能を導入すべきと思われるますか？

B 自由通路や駅前広場を含む施設について、山口を訪れる方をどのようなイメージで迎える施設であるべきと思われるますか？

ご意見②
 その他、ターミナルパーク整備について、自由にご意見をご記入ください。